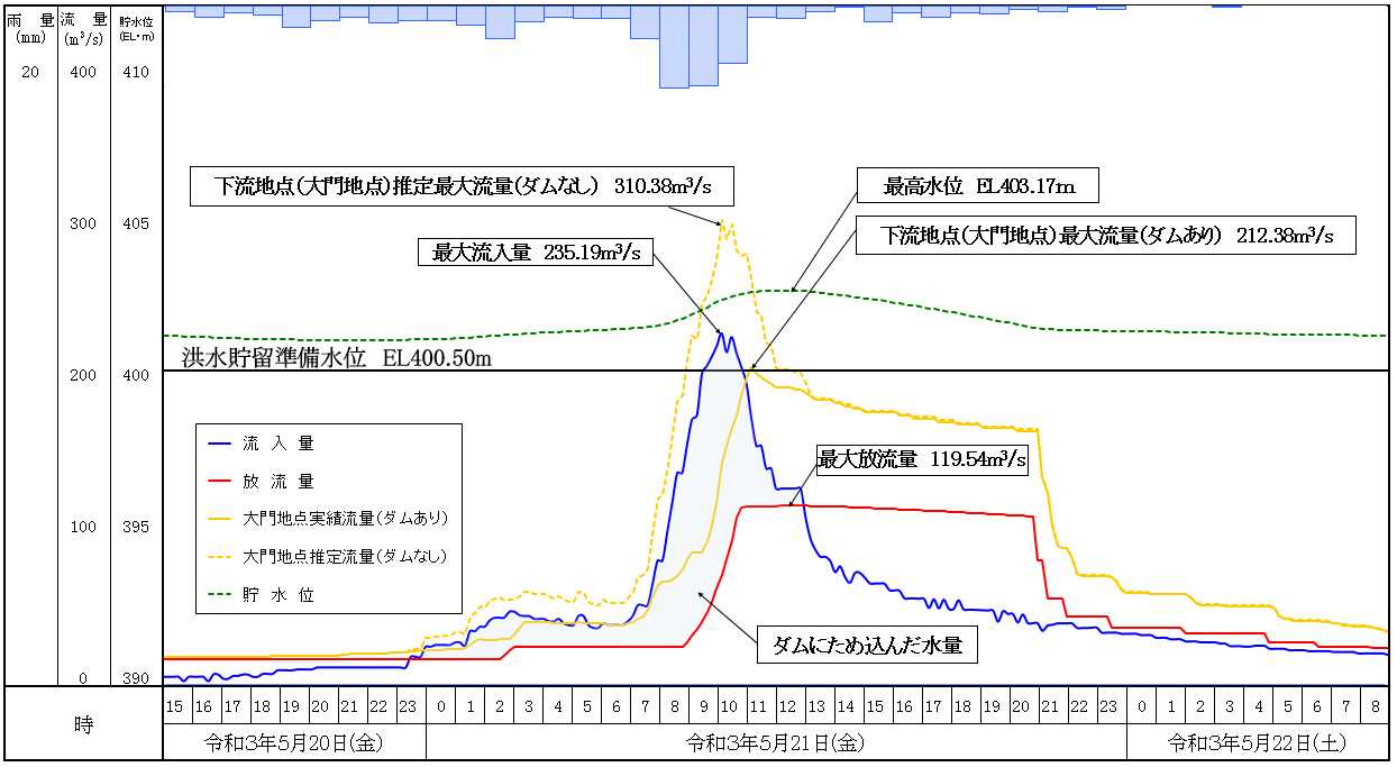
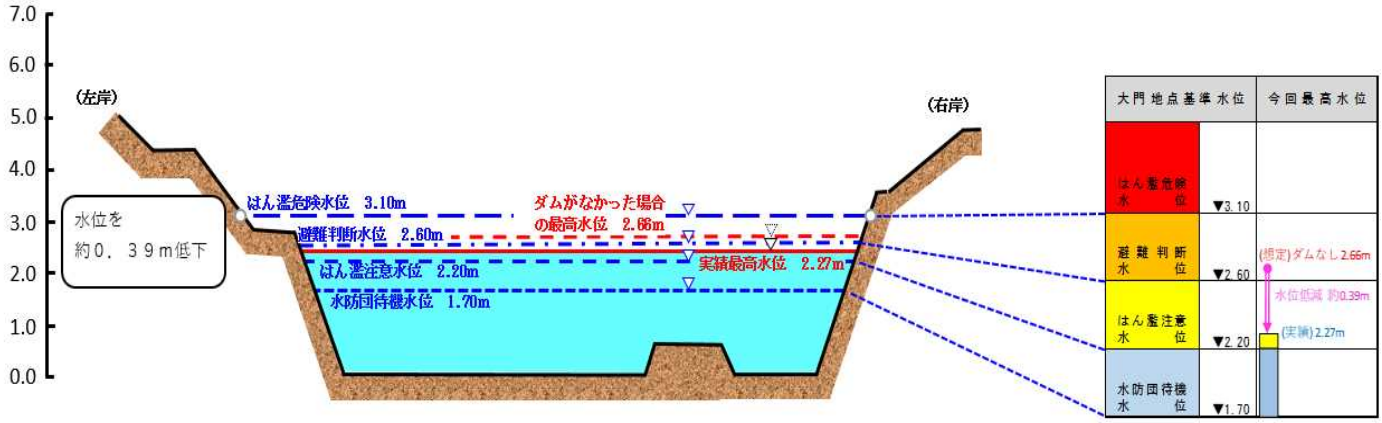
５月２１日の降雨による阿木川ダムの防災操作

○活発化した梅雨前線の影響により阿木川ダム流域で降雨（降り始めから約１６０ｍｍ）があり、最大毎秒約２３５立方メートルの流入を記録しました。

○阿木川ダムではダムに流れ込む水の一部を貯める防災操作を実施し、約１，４１１，０００立方メートル（名古屋ドーム約０．８杯分に相当する水量）の水をダムに貯留しました。この操作により、ダム下流の大門地点（恵那市東野字下屋下）の河川水位は、ダムがない場合と比べて約３９ｃｍ低減したものと推定しています。

阿木川ダム防災操作状況図



下流地点（大門地点　阿木川ダム下流約２．５ｋｍ）の水位低減効果